

学校法人エイシンカレッジ
長岡こども福祉カレッジ
令和5年度 事業報告書

1. 基本方針

- ・現代社会の要請、特に地元における福祉全般に求められる人材の育成
- ・必要な専門的な知識・技術を習得するとともに、自立した人間性を持ち、実社会の中で活躍できるスペシャリストを育成する。

2. 主な事業報告

(1) 授業運営に関する報告

- ・各学科が関連業界と連携しながら教育課程を編成している。
- ・国家資格取得を目指した教育課程を実践できた。(令和6年度より社会福祉士の国家試験が新カリキュラムに移行されるため、その対策が必要である。)
- ・コロナ後の新しい日常や人間とA Iの協調共生など社会の変化に対応した人材を育成できる授業を編成していく必要がある。

(2) 学生支援

- ・退学率を低下することができたが、多様な背景や悩みを抱える生徒が増加傾向である。面談や保護者との連携など対応方法を検討する必要がある。
- ・留学生の日本語能力試験(N2)の取得に向けた学習支援体制が整備できた。
- ・経済的支援として分納制度、高等教育の修学支援新制度、日本学生支援機構など多様な制度と相談体制が整っており、個別支援がおこなわれた。
- ・クラス担任と就職課によって学生の情報が共有され適切な就職支援ができた。就職を希望する学生は全員就職することができた。

(3) その他

- ・近年、コロナ渦により積極的なボランティア活動がおこなわれいかなかったが、令和5年度は徐々に参加可能な範囲が戻った。施設や団体と連携し可能な限り学生に情報を提供する。
- ・各学科で関連業界と積極的な協議交流がなされた。学生に有益な取り組みになるよう、引き続き励行する。
- ・適格請求書等保存方式に対応する会計手続きが整備された。